

# KLIS TODAY

No.  
37

## 筑波大学 情報学群 知識情報・図書館学類

〒305-8550 つくば市春日1-2 Tel 029-859-1110 Fax 029-859-1162  
URL <https://klis.tsukuba.ac.jp/> E-mail [klis-info@inf.tsukuba.ac.jp](mailto:klis-info@inf.tsukuba.ac.jp)

### 国際インターンシップ体験談

〔ドイツ〕

私たちは2019年9月にドイツを訪れ、国際インターンシップに参加しました。前半は図書館見学でした。南ドイツの8つの図書館を訪れ、日本の図書館とは異なる図書館空間の使い方を学びました。後半は地元の大学で行われたサマースクールに参加し、各国の図書館員の方々と今後の図書館の在り方について議論しました。約3週間の英語漬けの生活は日本に帰ってからの英語の勉強の励みとなっています。

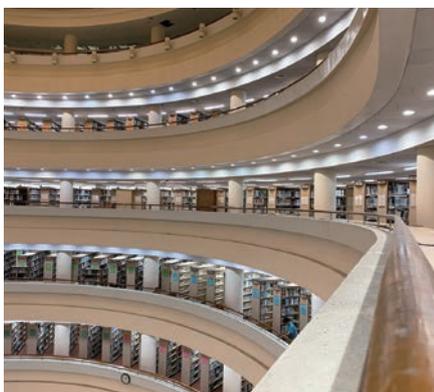
最後に、国際インターンシップ担当の先生方、ドイツで受け入れていただいた先生方、図書館員の方々に深く感謝いたします。

(いすみ・ゆいこ、すすき・さやか、たちばな・ふうきち 知識情報・図書館学類3年次)

泉 結依子、鈴木 清香、橘 風吉



〔台湾〕



私たちは2019年9月2日から20日まで、台湾での国際インターンシップに参加しました。

台湾では主に台湾師範大学図書館での業務見学、実践や企画のプレゼンなどを行いました。また、渡航前の予定にはなかった台湾大学図書館や台北公共図書館の見学など、私たちの要望を聞いて柔軟にプログラムを構成していただき、より多くの学びを得ることができました。最後に、国際インターンシップ担当の先生方、台湾で快く私たちを迎えてくださった図書館の方々に深く感謝いたします。

(もり・いぶき、ほそかわ・のりこ 知識情報・図書館学類3年次)



## 卒業研究紹介

### 「顔文字の意味」推定システムの提案

齊藤 幸乃



私は、卒業研究として、ツイート文の文章部分から読み取れる感情とそれにつく顔文字の表情・動作を組み合わせ、独自の「顔文字の意味」を推定するシステムを提案しました。「顔文字の意味」の例の1つに、嬉しい文章に泣く顔文字をつけた際の「嬉し泣き」が挙げられます。

本研究では、Transformerという深層学習の手法により感情分類を実施し、正解率57.6%のシステムが実現できるという結論に至りました。

この「顔文字の意味」の推定により、将来的に、使用する顔文字の推薦や視覚障がいのある人等の利用する音声読み上げ機能の改善が図れたらよいと思います。

(さいとう・ゆきの、知識情報システム専攻4年次)

### レズビアン風俗という場について

山崎 奈津美

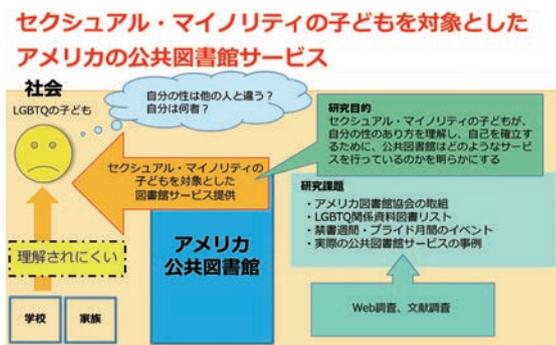
私は知識科学専攻において、「レズビアン風俗という場について」という題目で卒業研究に取り組みました。「レズビアン風俗」とは、女性が女性に対してサービスを提供する性風俗店で、さまざまなセクシュアリティの女性に利用されています。フィールドワークやインタビュー調査を通して、男性向け性風俗店と異なる点を明らかにし、それを踏まえその違いが何によって生まれているのかを考察することができました。この研究がさまざまな形で提供されるセックスワークへの偏見について考えるきっかけの一つとなればと思います。



(やまざき・なつみ、知識科学専攻4年次)

### セクシュアル・マイノリティの子どもを対象としたアメリカの公共図書館サービス

池田 真里江



私は「セクシュアル・マイノリティの子どもを対象としたアメリカの公共図書館サービス」について研究しました。公共図書館には、多様な資料を通じて1人でじっくり考えることのできる環境が整備されているため、LGBTQが青年期に性的アイデンティティを確立する場所に適していると考えます。このことからLGBTQの子どもと公共図書館に着目し、ウェブサイト調査と文献調査を行いました。アメリカでは、LGBTQの子ども向け

に包括的な図書館サービスが提供されていることが明らかになりました。研究結果が、日本のLGBTQ向け図書館サービスの向上に少しでも繋がれば幸いです。

(いけだ・まりえ、情報資源経営専攻4年次)

## 卒業生便り

図書館の仕事のやりがいとつながりの大切さ

石岡市立中央図書館 篠原 友美

私は、現在の編成になる前の「筑波大学図書館情報専門学群」に入学し、2009年に卒業しました。学んだ内容は、文系・理系の境目なく、教養基礎科目から図書館経営に関する科目、プログラミングなど多岐にわたっていました。卒業生の進路は様々で、私は地元である石岡市役所へ一般行政職として入庁し、現在、図書館に勤務しています。

仕事をしていて思うのは、図書館の可能性は無限である、ゆえにとても面白い、ということです。資料の選定、配架、コーナー作り、イベント開催、団体活動支援、教育支援、おはなし会、ブックスタートなど色々な業務を通し、地域の情報拠点として、老若男女様々な方へのサービスを実施しています。どうしたらもっと多くの方に利用してもらえるか、どのように利用者を支援できるか、考えてアイデアを出して、皆で話し合っ、実現していく……。そう簡単にはいかないことばかりではありますが、職員の工夫や努力が市民の方へ伝わりやすい場であるため、非常にやりがいを感じています。

当館は県内でも一番古い公共図書館であり、2019年に創立130周年を迎えました。これを記念し、多くのイベント・展示会の実施、記念誌の作成を行いました。記念誌作成においては、当館の歴史的重みなどを図書館学専門の先生方の視点で記していただければと、恩師である図書館情報メディア系教授の溝上系長と綿抜教授に執筆していただきました。綿抜教授から事業を盛り上げるアイデアをいただき、講演会の開催や大学での共催展示の実施など、事業を拡げることができました。講演会は好評で、参加した皆様からはまた開催してほしいとのリクエストが届いています。

恩師である先生方と一緒に事業を実施できたことは、かけがえのない経験になりました。ここでできたつながりを絶やすことなく、今後も大学と様々な場面で連携していければと思います。また、この経験を踏まえ、仕事をする上では、人と人とのつながりが一番大事だと実感しました。つながりをもっていれば、何かの機会に別の形で協力できるかもしれない、一緒に面白いことができるかもしれない。これは仕事に限らずプライベートにも言えることかもしれません。一期一会を大切に今後も仕事に取り組んでまいります。

(しのはら・ゆみ、2008年度図書館情報専門学群卒)

## 人類の文明を支える「記録による知識共有」の世界へ

大庭 一郎

人類は、直立二足歩行によって手で道具を使うようになり、大脳を発達させ言語を持ちました。当初、身振りや音声言語でやりとりをしましたが、これらによる伝達・伝承には限界があったのです。そこで、人類は文字を発明し、知識や情報を大脳の外に記録・保存・共有できるようにして、文明を発展させました。皆さんは、中学校社会科「歴史」の時間に、パピルスに記された象形文字（エジプト文明）、粘土板に記された楔形文字（メソポタミア文明）、象形文字（インダス文明）、動物の骨や亀の甲羅に書かれた甲骨文字（中国文明）について、学ばれたと思います。メソポタミアでは、楔形文字を記した粘土板を保管したところが発掘されたことから、世界最古の図書館があったと考えられています<sup>1)</sup>。

図書館とは、「人間の知的生産物である記録された知識や情報を収集、組織、保存し、人々の要求に応じて提供することを目的とする社会的機関」<sup>2)</sup>です。図書館が扱う情報メディアは、時代とともに、パピルス、粘土板、羊皮紙、図書や雑誌の印刷物、マイクロフィルム、レコード、CD、DVD、音声や動画像を含めた電子資料、インターネット上のネットワーク情報資源へと変遷・拡大しました。図書館は、長年、人類の文明を支える社会的機関のひとつとして「記録による知識共有」を支えてきました。そして、コンピュータやインターネットの急速な発展によって、21世紀の人類は、新たな技術や仕組みを活用した「記録による知識共有」の場を、伝統的な図書館だけでなく、社会の様々な場面で実現できるようになりました。

知識情報・図書館学類では、「情報メディアの集積を社会的知識資源として捉え、その視点から社会における知識共有と、それを実現する情報メディアと社会的仕組みを人間、社会、文化、情報、技術などの多様なアプローチから解明し、設計し、社会に働きかける」<sup>3)</sup>学問領域を追求しています。本学類で「記録による知識共有の重要性」を理解し、「知識共有の技術」を学んだ人は、現代社会の様々な領域で「記録による知識共有」を担う人材として幅広く活躍できます。本学類の教育を担当する教員らによって、『図書館情報学を学ぶ人のために』<sup>4)</sup>が刊行されていますので、「記録による知識共有」に関心のある方はご覧下さい。

### 【注・引用文献】

- 1) 藤野幸雄. 図書館史・総説. 勉誠出版, 1999.10, 244p. (図書館・情報メディア双書, 1) 参照は, p.14-17.
- 2) 日本図書館情報学会用語辞典編集委員会編. 図書館情報学用語辞典. 第4版. 丸善出版, 2013.12, vii,284p. 引用は, p.172.
- 3) 石井啓豊. “図書館情報学の展望: 知識共有の総合科学”. 図書館情報大学史: 25年の記録. 筑波大学大学院図書館情報メディア研究科編・刊, 2005.3, p.28-40. 参照は, p.33.
- 4) 逸村裕ほか編. 図書館情報学を学ぶ人のために. 世界思想社, 2017.4, viii,244p.

(おおば・いちろう 知識情報・図書館学類 講師)